

白石区ふれあいバラコンサート

(さっぽろ市民コンサート)

日時 4月29日(祝) 午後3時開演(午後2時30分開場)
 場所 東札幌小学校体育館(東札幌4条5丁目)
 演奏者 札幌交響楽団 指揮とお話し 鈴木 織衛(すずき・おりえ)氏
 入場料 無料(4月11日(木)から区広聴係、区民センター、区内各連絡所等で配布する入場整理券をご持参ください)。
 ※会場が満席となった場合、入場をご遠慮いただくこともございます。ご了承ください。

お問い合わせ先 白石区役所総務企画課企画調整担当
 ☎861-2400(内線415)

program

第一部

モーツァルト：歌劇「魔笛」序曲、
 交響曲第40番

第二部

エルガー：愛のあいさつ
 ディーリアス：春を告げるかっこうを聞いて
 J・シュトラウスⅡ：ワルツ「春の声」
 グリンカ：歌劇「ルスランとリユドミラ」序曲



ね」と笑いながら慰めてくれた。「コンサートも同じよ。もつと気軽に楽しんでほしい。おしゃべりしたり走り回ったりしなれば大丈夫。いびきさえなければ居眠りもしようがないわね。でもね、コンサートはおもしろいのよ。普段見ることのない演奏者の草や音を奏でる様子を見ることのできるのよ、コンサートならではのから」。なるほどこれもクラシックコンサートの楽しみ方の一つなのだ。

「私もバラコンサートみたいな肩ひじ張らないコンサートは好きよ。演奏中でも分かるのよ。会場の雰囲気。以前の別の街で公演をした時、小さな子どもたちが私たちの演奏にじっと耳を傾けてくれたことがあった。演奏者冥利につきて感じてくれたわね。そんなコンサートになればいいな」と水谷さんは話す。愛用のバイオリンを見せていた

「一七五二年に作られたというバイオリンは、飴色に輝き、とても二世紀以上を経たものとは思えない。まさに芸術品の域なのである。」

「そんな大層なものじゃないわよ。ストラディバリウスやガルネリじゃないんだから」と謙そんな素人にもそれがとても美しいものであることは分かった。それが水谷さんの手に収まると全く異なった趣を醸し出す。水谷さんによって命が吹き込まれた。そんな感じがした。そこから放たれた澄んだ響き。ぜひもう一度この音色を聞いてみたいと思った。

短い取材だったが、とてもたくさんのことを教わったよ。うな気がする。無性に「クラシック」が聞いてみたくなってきた。「コンサートに行こう」とりわけ水谷さんのバイオリンを聞くという新しい楽しみ方が見つかったのだから。

ストラディバリウス・ガルネリ・・・ともに十七、十八世紀に活躍したバイオリンの名工。その作品はいずれも名器と評される。